

送 辞

冬の寒さも和らぎ、徐々に春の暖かさが感じられ、いよいよ春めいて参りました。この良き日に、3年間の中学校生活を終え、それぞれの道に向かって新たな一步を踏み出されている十二名の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今、先輩方との思い出を振り返ると、先輩方はいつも私たちの道しるべとなり、私たちを支えて下さっていたことに改めて気づかされます。私たちが入学してきたときから、いつも私たちのそばで、私たちを励まし、優しく接して下さいました。その姿を見て、「いつか私たちもあんな先輩になりたい。」と目標にして生活してきました。特に、昨年3月から今日まで、見えない敵である「コロナウイルス」が私たちの生活を大きく変え、そんな中でも、先輩方は、何をするにも全力で、懸命に取り組む姿が目には焼き付いています。マスクを常に着用し、三密を防ぐ行動を余儀なくされました。行事も削減され、震災以降行われてきた小中合同運動会も中止となり、中学校の行事で最も大きな「みよび祭」も規模を縮小して開催されました。人前で披露することが少なくなった豊間中伝統の「豊中ソーラン」では、一つ一つの動きに「キレ」を出すために何度も何度も試行錯誤を重ねながら練習し、本番で大きな拍手をもらった時の喜びを今でも覚えています。その度に、先輩方の凛とした姿を私たちは誇らしく思うと共に、先輩方以上の「豊中ソーラン」を披露することに難しさを感じていました。しかし、先輩達が引き継いできた思いを、途切れさせないためにも、私たちが伝統を受け継ぎ、より良い物にしていくことを約束します。

また、厳しくつらい練習を行ってきた部活動では、先輩方は大きな声で私たちを引っ張り、常に努力し続けることを忘れませんでした。最後の大会である中体連では、練習も制限され、市大会のみしか開催されませんでした。先輩方は私たちに3年間の思いが詰まった最高のプレーを残して下さいました。その思いを次は私たちが受け継いで、少しでも先輩方に近づけるよう頑張っ参ります。

豊間中学校で先輩方と過ごしたかけがえのない思い出を、学校行事や委員会など、全てのことに全力で取り組む先輩方の姿を、私たちは決して忘れません。本当にありがとうございました。

今日を境に、私たちの道しるべとして支えて下さっていた先輩方が卒業してしまうと思うと、自分たちに同じことができるのか不安になります。今までは先輩方を見て学び、一歩ずつ前に進んできました。しかし、明日からは、そんな先輩方の姿はありません。だからこそ、今まで先輩方から学んだことを一つ一つ思い出し、新たな一步を踏み出すための糧として行きたいと思えます。

卒業生の皆さん、これから新たな道へ踏み出した先には、つらいことがあったり、大きな壁にぶつかったりすることがあるかもしれません。しかし、先輩方ならどんなに高い壁も乗り越えられると私たちは信じています。先輩方にはここ、豊間中学校で過ごしてきた3年間があります。支えて下さった先生方、家族がいます。そして何よりも一緒に苦楽を共にしてきた仲間がいます。それらを胸に、夢に向かって羽ばたいて下さい。

最後になりますが、今まで豊間中学校を支えて下さり、ありがとうございました。先輩方が引き継いできたこと、新たに発信してきたことを私たちが「伝統」として守っていくことをここに誓い、送辞とさせていただきます。

令和3年3月12日

在校生代表